

< 報道記事 >

平成27年度(2015年) 報道記事

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
1	4月2日		長崎	22	ユース、フェルキ	フェルキ氏が4日長崎訪問 大学生と意見交換も
2	4月2日		長崎	20	鈴木	海洋研究担当の副学長に中田教授 長崎大が新体制発表
3	4月2日		長崎	23	中村	ロシア核使用想定「狂気じみている」 県内被爆者怒りと不安
4	4月3日		西日本	25	鈴木	長崎大人事
5	4月4日		長崎	21	パオロ・コッタ・ラムジーノ	11月パグウォッシュ会議に向け 事務総長視察で来崎 長崎大で懇談「最後の被爆地に」
6	4月4日		毎日	21	パオロ・コッタ・ラムジーノ	世界大会への協力要請 パグウォッシュ会議事務総長 長崎大を訪問
7	4月5日	○	長崎	1	RECNA	長崎大大学院 核軍縮・不拡散教育 専門コース開設検討 国際法や経済、総合的研究
8	4月5日		長崎	12	ユース、鈴木	検証長大レクナ3年 核廃掲げ存在感発揮 三つの成果着々 認知進む
9	4月5日		長崎	22	ユース、パオロ、フェルキ	NPT議長長崎訪問 「会議成功」日本に期待 ラムジーノ事務総長講演
10	4月5日		西日本	26	ユース	NPT議長長崎訪問 爆心地で献花 大学生と意見交換
11	4月6日		長崎	22	ユース	ユース代表団に任命状 核兵器廃絶長崎連絡協 NPT参加の12人
12	4月6日		西日本	29	ユース	「被爆者の思い伝える」 NPT会議参加のユース代表団 長崎大で任命式
13	4月7日		読売	28	ユース	ユース代表団12人任命 NPT会議に合わせ平和活動
14	4月7日		毎日	27	ユース	「世界に核廃絶訴える」 NPT会議へ ナガサキ・ユース任命式
15	4月8日	○	朝日	31	RECNA	「北東アジアに非核地帯を」長崎大研究センター NPT再検討会議向け
16	4月8日		朝日	26	ユース	平和の訴え準備着々 27日からNPT再検討会議 被爆者ら訪米
17	4月8日		産経	25	RECNA	「北東アジアに非核地帯を」
18	4月8日	○	長崎	1	調、梅林、鈴木	非核化提言書を公表 長崎大レクナ 「核の脱却への代案に」
19	4月8日		西日本	3	梅林	北東アジア非核化を 「6カ国協議で議題に」
20	4月9日		毎日	25	RECNA	「北東アジア非核地帯に」 長崎大・センター政策を提言
21	4月9日		西日本	23	土山、ユース	「許さない対象は、人ではなく核兵器」 土山元学長に「原爆」学ぶ ユースの学生ら、訪米控え
22	4月10日		読売	29	パオロ・コッタ・ラムジーノ	核軍縮テーマに講演 パグウォッシュの事務総長
23	4月11日	○	長崎	22	梅林、鈴木	外務省に非核化提言書 長崎大レクナ教授陣が講演
24	4月11日		長崎	22	パオロ・コッタ・ラムジーノ	「核の傘」強調は危険 広島、長崎にノーベル賞を
25	4月11日		長崎	23	梅林	核使用想定演習抗議文 ロ大使館「言い掛かり」 長崎市に返書 被爆者怒り
26	4月11日		西日本	31	中村	長崎市が核想定演習に講義 ロシア反論の返書
27	4月15日		長崎	12	竹田穰、西田千紗	本音引き出したい 学ぶ責任心に刻む
28	4月16日		毎日	29	土山	ヒバクシャ 核廃絶理性信じ 生き延びた医学生 真剣な若者見て勇気
29	4月16日		長崎	12	山中智絵、稲垣歩海	悔しさバネに再訪 「無関心」変えたい
30	4月16日		読売	30	鈴木	北東アジアに非核地帯を 6か国協議再開など7項目提言
31	4月17日		朝日	34	No Nukes	NoNukes願う一冊 吉永小百合さんら寄稿 学生ら編集「核へのアレルギー持ち続けて」
32	4月17日		長崎	10	川崎真由、中原ゆかり	傍聴で発言に注目 同世代と原発議論
33	4月17日		長崎	22	朝長、ユース	初の被爆者フォーラム NPT派遣の地球市民集会実行委 30日NYで開催
34	4月18日		長崎	10	天野貴暢、佐々木朋哉	大勢に招待状配布 被爆証言どう影響
35	4月19日		長崎	1	RECNA、ユース	NPTで渡米 「チーム長崎」結束 被爆者ら9団体 発の合同壮行会
36	4月19日		長崎	2	荒倉由佳、河野早杜	問題意識聞き出す 核なき未来若者で
37	4月19日		西日本	30	朝長、ユース	ナガサキの声 届け 27日からNPT参加者壮行会
38	4月20日		長崎	2	宮田美波、秀総一郎	非核兵器地帯に光 大学内で意識調査
39	4月20日		西日本	6	ユース	NPT再検討会議 NYで27日開幕 「核なき世界」道険し
40	4月21日		長崎	2	RECNA	論説 核の「傘」脱却へのモデル 「非核地帯」提言
41	4月21日		長崎	21	新崎さくら、川崎有希	核なき世界願い一冊に 長崎大生ら編集「No Nukes」刊行
42	4月21日		西日本	30	新崎さくら、川崎有希	大学生編集「核廃絶」本 長崎、広島、福島スクラム 美輪明宏さんら詩や文章
43	4月21日		毎日	27	新崎さくら、川崎有希	学生らが反核本を刊行 長崎大など7人 メッセージや写真まとめる
44	4月22日		長崎	26	朝長	未来へ向けて NPT再検討会議を前に
45	4月23日		毎日	23	黒澤	被爆70年 NPT会議の焦点 「人の安全保障」に注目
46	4月23日		読売	30	新崎さくら、川崎有希	核廃絶へ長崎大生ら本 広島、福島の学生も執筆
47	4月24日		長崎	25	調、鈴木、冨塚	長崎大レクナ 世界の核物質DB公開
48	4月25日		中国	18	梅林、鈴木、中村	「緊張緩和」へは送転換 地域の平和へ新たな道
49	4月25日		中国	19		対立超えて日韓協力を
50	4月28日		長崎	22	ユース(天野貴暢)	被爆者らNYで平和大行進 核兵器廃絶6000人が訴え
51	4月28日		長崎	22	ユース	長大レクナNPT再検討会議報告2015 (1) 四つのポイント
52	4月28日		読売	31	ユース	平和の思いハトの形に NY行進、長崎大生ら参加 沿道から共感の声
53	4月29日		朝日	31	ユース	未来学ぶ平和教育 長崎大生ら国連で意見発表へ 「僕らの思いぶつける」
54	4月29日		長崎	26	中村、ユース	核禁条約言及せず 外相演説、被爆者ら落胆 NPT再検討会議
55	5月1日		長崎	22	中村執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015 (2) NACの提案
56	5月2日		朝日	25	ユース(西田千紗)	届けた平和への願い 若者が核廃絶の先頭に
57	5月2日		西日本	29	ユース	NPTユースフォーラム 核廃絶「学び、考え、行動を」
58	5月3日		読売	17	鈴木	戦後70年 湯浅、朝長 核兵器廃絶の訴え
59	5月4日		長崎	22	広瀬執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015 (3) 注目すべき声明
60	5月5日		朝日	19	鈴木	「キャロライン氏と核なき世界めざす」 長崎市長、故ケネディ氏の墓参り
61	5月5日		長崎	22	鈴木	「核兵器廃絶へ努力」長崎市長ケネディ元大統領に誓う
62	5月6日		朝日	29	鈴木	被爆地の思い伝える 長崎市長、米高官と会談
63	5月6日		長崎	19	梅林	RECNA新政策提言 「傘」安住日本の責任問う
64	5月6日		長崎	22	中村執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015 (4) 相反する軸
65	5月6日		長崎	22	鈴木	米大統領の被爆地訪問「真摯な対応だった」 長崎市長 国務次官に要請
66	5月9日		長崎	24	RECNA	「被爆70年にこの長崎の地で」核兵器廃絶考えよう 来月から市民講座
67	5月9日		長崎	26	広瀬執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015 (5) 中東非大量破壊兵器地帯
68	5月9日		西日本	25	ユース	NPT再検討会議 「平和教育の輪広げよう」 長崎ユース各国のNGOと討論
69	5月9日		長崎	27	ユース	核めぐる状況教えるべき ナガサキ・ユース代表団 平和教育世界に問う
70	5月9日		読売	32	ユース	長大生国連で核廃絶訴え 若者の認識不足など指摘
71	5月10日		朝日	31	梅林	「北東アジアを日核兵器地帯に」レクナ、集大成の提言 「包括的枠組み協定」締結めざす
72	5月10日		長崎	22	梅林	北東アジア非核地帯創設 「日韓が主導的役割を」長大レクナ国連でフォーラム
73	5月10日		西日本	1	梅林	「北東アジアの非核化を」長崎大、NPTイベントで提言
74	5月10日		長崎	23	中村、土山	NPT会議「核禁条約」促す素案 被爆地の声 届いた 積極姿勢 政府に要求
75	5月10日		西日本	30	梅林	長崎大非核提言 「核の傘」矛盾解消狙う 各国の信頼関係構築課題
76	5月10日		読売	31	梅林	北東アジア非核化提案 国連で、長崎大研究センター

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
77	5月11日		長崎	23	鈴木	鍵握る「核の傘」依存国 日米識者に聞く NPT会議の行方
78	5月12日		朝日	33	ユース	「チーム長崎として活動」長崎市長、NPT会議報告
79	5月12日		長崎	21	中村執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（6）核兵器禁止の法的議論
80	5月13日		朝日	32	西田千紗	長崎平和宣言 起草委に初の大学生 若い世代へ継承図る
81	5月13日		長崎	1	西田千紗、梅林	被爆70年ナガサキ 8・9ナガサキ平和宣言 起草委 委員に初の「2世代表」
82	5月13日		西日本	23	西田千紗	平和宣言の起草委 最年少長崎大生も メンバー新たに3人
83	5月13日		読売	34	西田千紗	長崎平和宣言 起草委に被爆2世 大学生も参加
84	5月14日		長崎	23	梅林	被爆地訪問要請 削除 非人道性知って 長崎、広島非難や戸惑い
85	5月14日	○	読売	26	鈴木	核物質 世界の保有量推計 広島・長崎原爆10万4500発分 長崎大研究センターHPIに掲載
86	5月16日		長崎	21	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（7）原子力の平和利用
87	5月16日		長崎	23	西田千紗	歴代最年少の平和起草委員 「つなぐだけでなく中心となって」
88	5月17日		朝日	31	西田千紗	平和の訴え 次世代へも 起草委発選出の大学生・被爆2世
89	5月17日		長崎	22	西田千紗	起草委初会合 「節目の訴え」多様な主張 継承、核禁条約などテーマ探る
90	5月17日		西日本	28	西田千紗	長崎の平和宣言起草委が初会合 若者に「平和守る」自覚を
91	5月17日		毎日	25	西田千紗	被爆者の思い継承 長崎市の平和宣言文起草委 被爆2世ら参加
92	5月19日		長崎	22	中村執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（8）深まる対立
93	5月20日		朝日	28	ユース	被爆者の思い届いたが・・・ 米NYNPT会議取材を振り返る
94	5月20日		長崎	21	中村執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（9）埋まらない溝
95	5月21日		長崎	21	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（10）最後の交渉へ
96	5月23日		長崎	21	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（11）道は見えるか
97	5月23日		長崎	22	ユース(佐々木朋哉)	NPT文書 「見える成果ほしかった」
98	5月23日		西日本	5	中村	「被爆国」外交 力負け 対中国 各国遠巻き
99	5月24日		朝日	33	中村	核廃絶 先見えぬ状況残念 被爆者の願い 踏みにじる
100	5月24日		朝日	37	中村	NPTに失望・いら立ち 被爆者「限界来た」「裏切られた」
101	5月24日		長崎	22	梅林	被爆地は待てない 保有国 追い込むべき
102	5月24日		長崎	23	ユース(天野貴暢)	期待を裏切られた 被爆者ら陰しい表情
103	5月24日		西日本	29	中村	反核70年「裏切られた」 NPT会議決裂 86歳「命懸け」届かず
104	5月25日		長崎	22	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（12）文書採択されず(上)
105	5月26日		長崎	22	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（13）文書採択されず(下)
106	5月27日		長崎	20	RECNA	NPT会議の活動報告
107	5月27日		長崎	21	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（14）方向性(上)
108	5月28日		長崎	22	鈴木執筆	長大レクナNPT再検討会議報告2015（15）方向性(下)
109	5月28日		毎日	27	調、鈴木、冨塚	世界の核物質一目で 長崎大がデータポスター
110	6月1日		読売	25	ユース	米での平和行進を報告 地球市民集会代表団「成果あった」
111	6月2日	○	長崎	22	ユース	「核廃絶、本気の国も」長崎大のユース代表団 市内でNPT活動報告会
112	6月3日		朝日	27	ユース	核といのちを考える 被爆地の思い伝え続ける NPT会議 NYでの活動報告
113	6月4日		毎日	21	ユース	ユース代表団NPT報告会 他国政府関係者に核廃絶発信 称賛、反応に驚き
114	6月8日		読売	27	ユース、レクサポ	NPT会議 長崎大生ら奮闘
115	6月9日		長崎	11	鈴木、広瀬	NPT再検討会議の評価 ナガサキの視点
116	6月14日	○	長崎	26	RECNA教員	核抑止依存から脱却必要 長崎大教授陣が講演
117	6月14日		長崎	27	ユース(西田千紗)	平和宣言原案提示 「現実目に向けよ」 安保法案言及なし 委員から異論相次ぐ
118	6月14日		西日本	33	梅林、広瀬	核廃絶へ手掛かり残った 長崎大レクナ NPT会議を報告
119	6月14日		毎日	30	梅林	平和宣言文 素案で触れず
120	6月14日		読売	26	鈴木	戦後70年 原子力と放射線(上) ■輸入品
121	6月17日		朝日	29	梅林、広瀬	NPT会議参加レクナが報告会
122	6月19日		長崎	31	ユース(河野早杜)	NPT会議で訪米の長崎大生 時津中生に向け熱弁 知り、考えるのが核廃絶の道
123	6月19日		長崎	26	ユース(佐々木朋哉)	新安保法案にひと言 長崎市家野町、大学生佐々木朋哉さん(20) 最適とは言えない
124	6月21日		中国	20	中村	非核の世論 今こそ力に
125	5月24日		東京		鈴木	NPT会議核保有国が見限り 核心 禁止条約削除に失望
126	6月23日		朝日	31	RECNA	世界の核弾頭1万5700発 レクナの分析ポスターに
127	6月23日	○	長崎	22	RECNA	世界の核弾頭1万5700発 長大レクナ推計 「危機的状況脱出せず」
128	6月23日		西日本	30	RECNA	世界の核弾頭数9カ国1万5700発 長崎大推計
129	6月24日		長崎	12	四條さん	「長崎の証言」データ化 RECNA客員研究員四條さん体系的に整理
130	6月27日		毎日	25	RECNA	世界の核弾頭数は 長崎大センターポスター製作
131	6月27日		読売	35	RECNA	世界の核弾頭1万5700発 長崎大研究センター推計値 ポスターも作る
132	6月29日		デーリー東北	3	鈴木	市民参加で合意形成を 高レベル廃棄物処理問題 有識者提唱 八戸でシンポ
133	6月29日		朝日東北	27	鈴木	核燃施策の見直し「国や県は検討を」 シンポで研究者ら指摘
134	6月29日		東奥日報	2	鈴木	放射性廃棄物最終処分地の選定 「第三者機関が検証を」専門家招き八戸でシンポ
135	7月3日		長崎特別版	4	中村	ながさきしんぶんピースをあつめて 核兵器なぜなくならない 原爆は今の問題
136	7月7日		朝日	30	ユース(河野早杜)	平和報道 大学生と考える
137	7月7日		長崎	19	中村	「アメリカの壁感じた」NPT会議時活動ララコープが報告
138	7月9日		聖教	7	鈴木	災害と文明 3.11以降のエネルギー政策 大量消費に依存しない社会へ
139	7月9日		長崎	8	RECNA	私の紙面批評 NPT会議報告 複合的な報道を評価
140	7月12日		西日本	29	梅林	「安保法案に懸念」平和宣言文起草委 抑止力依存を警戒
141	7月12日		長崎	1	梅林	平和宣言 安保法案言及 市長名言、慎重審議求める
142	7月12日		長崎	7	RECNA	NPT報告会 生の声に学ぶ
143	7月12日		長崎	26	ユース(西田千紗)	被爆地の懸念 多角的議論 市長「ぎりぎりまで詰める」
144	7月12日		日経	7	RECNA	NPT報告会 生の声に学ぶ
145	7月12日		朝日	38	梅林	平和宣言で安保法案言及へ 長崎市 慎重審議求める修正案
146	7月12日		毎日	30	梅林	「安保法案慎重審議を」 長崎平和宣言文案 起草委最終会合
147	7月18日		西日本	30	冨塚	安保法案に危機感 五島市で冨塚・長崎大准教授講演 「9条、歯止めにならず」
148	7月19日		長崎	22	リーパー	核兵器廃絶が最優先 長大レクナ リーパー教授講演
149	7月21日			22	ユース(秀総一郎)	「禁止条約を」識者らが訴え 広島で核廃絶シンポ
150	7月21日		中国	1	RECNA、レクサポ	被爆70年 体験継承の重み 広島でシンポ 核廃絶への展望示す
151	7月26日		朝日	1	鈴木	平和利用の名 潜む核 戦後70年 第5部 広島・長崎・核
152	7月27日		中国	16	黒澤	問われる日本の姿勢 基調講演 黒澤満氏 NPT会議 道は示された
153	7月27日		中国	17	中村、ユース(秀総一郎)	若者の行動 後押しを 「核兵器=悪」浸透不可欠 聞く立場考えた発信必要

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
154	7月30日		長崎	22	土山	被爆70年の基点 ナガサキの課題 ③核政策
155	7月31日		長崎	27	ユース(荒倉由佳)	新安保法案にひと言 長崎市平和町、大学生荒倉由佳さん(30) 武力以外で対応を
156	8月1日		広報長崎	10	中村	4「核兵器のない世界」の実現に向けて
157	8月1日		長崎	2	森永	論説 爆心地と遺構を残す意義 長崎原爆遺跡
158	8月1日		長崎	14	レクサポ(松本健太郎)	世界こども平和会議 参加者向けガイド本完成 被爆実相など紹介「活動の一步に」
159	8月2日		日経	31	ユース(稲垣歩海)	戦後70年 広島・長崎の叫び 反核の訴え一歩ずつ
160	8月3日		長崎	11	鈴木	矛盾抱える日本政府 投下は誤り 認めぬ米
161	8月4日		西日本	30	中村	ふちに立つ 被爆70年の長崎 1万5700発なくすために
162	8月5日		西日本	22	RECNA	証言をつなぐ 継承 自信と不安
163	8月5日		長崎	2	森永	論説 相互理解の出発に期待 世界こども平和会議
164	8月6日		ブラジル	A15	広瀬	
165	8月6日		朝日	12	リーパー	社説 原爆投下70年 核兵器禁止条約へ動こう
166	8月6日		朝日	23	鈴木	「軍事研究」悩む線引き モラルが歯止め 指針整備の大学も
167	8月6日		長崎	25	中村	被爆者怒りあらわ 「非核三原則法制化を 長崎」
168	8月6日		読売	35	ユース(西田千紗)	核兵器廃絶諦めない 被爆者10年で8万人減 長崎大生世界へ訴え
169	8月8日		長崎	2	森永	論説 順当な言葉で過去総括を
170	8月9日	ナガサキピースタイムズ		4	鈴木、ユース(天野貴暢)	被爆の実相と平和の尊さを
171	8月9日	ナガサキピースタイムズ		5	キャサリン・サリバン	世界中へ届けよう
172	8月9日		長崎	4	森永	論説 世論置き去りに抗議する 原発再稼動
173	8月9日		長崎	15	レクサポ	日米の学生が意見交換 核廃絶へ心ひとつに
174	8月10日		朝日	8	森永	論説 被爆70年の日本 核なき世界近づけるには
175	8月10日		沖縄タイムス		ユース(新崎さくら)	対話重ね平和継承へ
176	8月10日		長崎	23		長崎平和宣言 平和の種を蒔き続ける 長崎市長 田上 富久
177	8月11日		長崎	2	森永	論説 徐々に広がる「非人道性」 核軍縮この1年
178	8月11日	○	長崎	26	レクサポ(豊田健主)	核廃絶へ長崎大学生ら「若者宣言」案 禁止条約支持 政府に提言 専門家助言、来月公開
179	8月12日		毎日	24	鈴木	再稼動地元は複雑 「国にはかなわない」「原発が日常」
180	8月13日		長崎	2	森永	論説 国は早急に12キロ圏救済を 被爆地域拡大
181	8月15日		長崎	4	森永	論説 読解難しい「節目の決意」 戦後70年談話
182	8月16日		長崎	4	森永	論説 戦争と政治に目を凝らす 終戦の日に
183	8月21日		週間朝日	29	鈴木	核燃料サイクル再稼動とセット
184	8月22日		朝日	9	黒澤	核といのちをかんがえる 被爆70年の広島から
185	8月30日		長崎	26	RECNA	NPT決裂踏まえ 専門家ら意見 核兵器「法的禁止を」 廃絶へ枠組み求める
186	8月31日		長崎	24	ユース(河野早杜)	“変革の世代”行動を 核廃絶へ向け共同声明 広島
187	9月2日		朝日	26	レベッカ・ジョンソン	被爆者こそがノーベル平和賞に
188	9月2日		BBC		鈴木	Can we learn to live with nuclear technology?
189	9月3日		長崎	14		「ピース・タイムズ」発行 被爆70年記念事業紹介
190	9月9日		長崎	13	RECNA	ナガサキの視点 どうなるNPT再検討会議後の核軍縮
191	9月9日		長崎	13	RECNA	非人道性訴え「核の傘」脱却の検討提案
192	9月15日	○	長崎	25	西田	外務省軍縮専門官 西田氏講演
193	9月18日		西日本	35	鈴木	バグウォッシュ長崎大会で下村脩氏講演
194	9月18日		長崎	29		バグウォッシュ会議 米口の国務次官級招聘
195	9月18日		長崎	29	梅林	核弾頭数削減を要請 ピースデポ 新決議案で外務省に
196	9月19日		長崎	28	朝長、中村	核廃絶へ市民はどうごくべきか
197	9月19日		読売	35	朝長、中村	核兵器廃絶へフォーラム
198	9月23日		Cape Times		鈴木	Japan expert's nuke warning for SA
199	9月23日		Pretoria News		鈴木	ANC MP rebuffs Fukushima expert over 'nuke risk' address
200	9月25日		Daily News		鈴木	Nuke expert warns SA
201	9月27日		長崎	24	中村	「連携して核兵器禁止条約を」被爆者の「長年の功績」評価
202	9月		長崎市広報	2		特集バグウォッシュ会議長崎開催
203	9月		長崎市広報	3		長崎平和宣言
204	10月4日		長崎	6	森永	論説 核の脅威、科学者が討議 バグウォッシュ会議
205	10月4日		長崎	22	四條	「浦上の原爆の語り」(四條知恵) 変容続ける体験の意味
206	10月6日		長崎	28	朝長、RECNA	北東アジア非核化「核の傘」脱却へ有効
207	10月7日		長崎	23	ユース	各国の軍縮関係者長大生と意見交換
208	10月9日		長崎	15	RECNA	来月長崎でバグウォッシュ会議世界大会開催
209	10月8日		週刊仏教タイムス	3		長崎で科学者と対話集会
210	10月15日		読売	32	鈴木	バグウォッシュ会議来月1日開幕
211	10月15日		毎日		鈴木	核燃料サイクル実現めど立たず 理由なき「再利用」固執
212	10月15日		毎日	26		「国の対立を超えた議論を」 バグウォッシュ会議
213	10月17日		長崎	24	鈴木	来月のバグウォッシュ会議 長崎 米ロ軍縮担当官が論議
214	10月17日		毎日	25		バグウォッシュ会議長崎で初開催
215	10月18日		長崎	19	鈴木、朝長、中村、広瀬、森永	新刊紹介「軍縮辞典」
216	10月18日		長崎	22	小沼	核廃絶で小沼氏講演 慶応大名誉教授 バグウォッシュ会議前に
217	10月19日		西日本	23	鈴木	高校、大学生ら180人核なき世界考える「民主党大学」開催
218	10月21日		朝日	35	鈴木	バグウォッシュ会議長崎で来月 核廃絶「夢ではない」
219	10月21日		朝日	37		イラン原子力庁長官ら参加へ 長崎 書く廃絶語る会議
220	10月21日		長崎	24	中村	取材の現場で 新聞週間に寄せて
221	10月21日	○	長崎	24	鈴木、調	長崎を最後の被爆地に 来月バグウォッシュ会議
222	10月25日		長崎	1	榎本	バグウォッシュ世界大会2015ナガサキ 30、31にヤング会議
223	10月25日		長崎	24	益川敏英	「核への意識高めたい」 来月バグウォッシュ会議長崎
224	10月25日		毎日	8	鈴木	バグウォッシュ会議長崎 科学者の力で全ての核の廃絶を
225	10月26日		中日			社説 核と人類 バグウォッシュ会議を前に 世界を動かした死の灰
226	10月27日		中日			社説 核と人類 バグウォッシュ会議を前に いちばん若い被爆者が
227	10月27日		朝日	33	鈴木	「福島」の教訓世界にどう発信
228	10月28日		中日			社説 核と人類 バグウォッシュ会議を前に 戦争ができてはイケン
229	10月29日		中日			社説 核と人類 バグウォッシュ会議を前に 抑止より脅威を語ろう
230	10月30日		中日			社説 核と人類 バグウォッシュ会議を前に 政治を動かすのは市民

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
231	10月30日		長崎	24	ダナバラ	パグウォッシュ世界大会2015ナガサキ 核廃絶で「対話」
232	10月30日		毎日	5	ダナバラ	科学者会議と核廃絶で協力
233	10月31日		西日本	1	鈴木	「パグウォッシュ会議あす開幕 核廃絶 長崎から知恵
234	10月31日		西日本	3		パグウォッシュ会議 科学者が核廃絶を討議
235	10月31日		西日本	3		世界の若手研究者本会議を前に討論 長崎市で開幕
236	10月31日		朝日	2		いちからわかる！ パグウォッシュ会議って何じゃ？
237	10月31日		朝日	31	榎本	ヤングパグウォッシュ会議 20カ国の若手研究者 核軍縮など議論開始
238	10月31日		朝日	31		科学者と宗教者対話集会を開催
239	10月31日		朝日	37		日本人科学者の警鐘「原点」
240	10月31日		長崎	1		科学者続々長崎入り ヤング会議は議論開始
241	10月31日		長崎	22		記者の目 世界の核実情知る機会に
242	10月31日		長崎	23		「核兵器廃絶へ決意新た」科学者ら原爆写真見入る
243	10月31日		読売	35		若手科学者 核廃絶めざし討議
244	10月31日		毎日	20	榎本	パグウォッシュ会議 発足に関わり 宣言を市民運動の契機に
245	10月31日		毎日	21		湯川博士と妻 平和の道
246	10月31日		毎日	26	中村	「被爆者に希望を」 長崎 パグウォッシュ会議あす開幕
247	11月1日		西日本	26		被爆地・長崎から変える パグウォッシュ会議の意義 元評議員小沼通二氏に聞く
248	11月1日		長崎	1		「大統領訪問働き掛ける」 米国務省軍縮局 フリード氏来崎
249	11月1日		長崎	1		水や空(長崎新聞コラム)
250	11月1日		長崎	2		「和敬清寂」の心伝えたい
251	11月1日		長崎	24		核軍縮「教育や対話重要」 核兵器なき世界へ連携
252	11月1日		読売	29		科学者と平和語り交流 ヤングパグウォッシュ会議 高校生ら
253	11月1日		読売	29	三根	被爆者支えた背景探る
254	11月1日		読売	29	ダナバラ	核廃絶 科学者ら討議
255	11月1日		日経	35		パグウォッシュ会議きょうから 核廃絶へ若手が議論
256	11月1日		毎日	23		「核軍縮のために何ができるか」 ヤングパグウォッシュ会議
257	11月2日		西日本	2		長崎でパグウォッシュ会議開幕 科学者ら被爆体験聴く
258	11月2日		西日本	22		被爆の爪痕 科学者触れる 体験談に耳傾け 城山小校舎訪問
259	11月2日	○	西日本	24		パグウォッシュ会議 科学者ら厳しく批判
260	11月2日		中日	2		米口の「核抑止論」に批判 国のメンツ越え核廃絶を
261	11月2日		朝日	3		核廃絶、世界の科学者議論 パグウォッシュ会議 長崎で初開催
262	11月2日		朝日	27		科学者ら 核廃絶の思い新たに パグウォッシュ会議開幕
263	11月2日		朝日	30		非核 科学者に託す 長崎で被爆 山脇さん傍聴
264	11月2日		長崎	1		パグウォッシュ会議 被爆地長崎で開幕
265	11月2日		読売	23		科学者ら被爆体験聞く パグウォッシュ会議開幕
266	11月2日		長崎	6		論説 非核の科学者を歓迎する パグウォッシュ会議
267	11月2日		長崎	22		米口高官 核抑止正当化 科学者、被爆者ら反発
268	11月2日		長崎	22		核廃絶議論後押し 長崎市ゆかりの専門家
269	11月2日		読売	26		パグウォッシュ会議開幕 長崎で初 核兵器廃絶へ議論
270	11月2日		日経	38		核廃絶の議論 長崎で パグウォッシュ会議開幕
271	11月2日		毎日	23		被爆者・山脇佳朗さんが講話 会場総立ちの拍手
272	11月2日		毎日	24		核なき世界めざし 長崎市で180人参加 パグウォッシュ会議開幕
273	11月3日		朝日	29		パグウォッシュ会議会場で原爆写真展 米高官「心動かされた」
274	11月3日		長崎	26		核軍縮へ「対話促す」 紛争解決に貢献を
275	11月3日		読売	25	鈴木	核兵器の非人道性 理解深まる 核抑止力では議論必要
276	11月3日		読売	29		作業部会など開催 パグウォッシュ会議
277	11月3日		毎日	28	下村	「核なき世界の実現を」 ノーベル化学賞下村脩さん 長崎原爆の体験語る
278	11月4日		西日本	3	下村	「原爆 人生観変えた」 ノーベル化学賞下村氏が講演
279	11月4日		西日本	20		露天風呂、相部屋、日本食・・・ 伊王島のもてなし好評
280	11月4日		中日	2	下村	日本の原子力政策批判 原爆で人生観変わった
281	11月4日		朝日	25	下村	「戦争・核兵器のない世界を」 下村脩さん 原爆目撃を語る
282	11月4日		朝日	29		原発リスク 議論伯仲 事故対策「オープンに」主張 「電気持たぬ危険性」指摘も
283	11月4日		長崎	1		核燃サイクル批判 米国の科学者「兵器転用の恐れ」
284	11月4日		長崎	20	下村	原爆は私の人生観変えた 体験語り、核なき世界訴え
285	11月4日		長崎	20		核兵器禁止決議・日本棄権 「偽善的態度」と批判
286	11月4日		読売	31		科学者ら郷土料理味わい交流 歓迎レセプションに200人
287	11月4日		読売	34	下村	「核兵器ない世界を」 ノーベル賞下村さん原爆体験語る
288	11月4日		毎日	24		「現実と期待にギャップ」 原発事故の背景討議
289	11月5日		中日(夕刊)			「核廃絶確約を」宣言発表 パグウォッシュ会議閉幕
290	11月5日		朝日	27		パグウォッシュ会議 世界各地の課題議論
291	11月5日		長崎	3		核禁止 背を向けた五大国 国際社会分断、日本岐路に
292	11月5日		長崎	24		核合意 対話で実現 イラン副大統領が強調
293	11月6日		産経	25		核廃絶求め「長崎宣言」 パグウォッシュ会議閉幕
294	11月6日		西日本	1		「長崎 最後の被爆地に」 パグウォッシュ会議閉会
295	11月6日		西日本	7		パグウォッシュ評議会長崎宣言
296	11月6日		西日本	27		「核燃料再処理」に反対 パグウォッシュ会議の参加者 きょう首相へ書簡
297	11月6日		西日本	33		核廃絶へ具体的行動を 被爆地開催の意義重く
298	11月6日		中日	32		核廃絶実現 道のり遠く 長崎・パグウォッシュ会議閉幕
299	11月6日		朝日	31		被爆者の声「大きな力に」 核廃絶取り組み、いっそう
300	11月6日		朝日	36	榎本	「長崎を最後の被爆地に」 パグウォッシュ会議「宣言」発表し閉幕
301	11月6日		長崎	1		核保有国 廃絶確約を「人間性忘れるな」「長崎宣言」発表し閉幕
302	11月6日		長崎	2		論説 核兵器禁止への強い援護 「長崎宣言」
303	11月6日		長崎	6		パグウォッシュ世界大会 「長崎宣言」全文
304	11月6日		長崎	28		「宣言」被爆者ら評価 科学者の行動力に期待
305	11月6日	○	長崎	29		核兵器の法的禁止を パグウォッシュ会議閉幕 会長「市民と連携したい」
306	11月6日		読売	31		長崎宣言 核廃絶へ決意 パグウォッシュ会議閉幕 被爆者ら手応え
307	11月6日		読売	34		「長崎 最後の被爆地に」 宣言発表 パグウォッシュ会議閉幕

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
308	11月6日		毎日	1		「長崎を最後の被爆地に」 宣言発表 バグウォッシュ会議閉幕
309	11月6日		毎日	3		核兵器廃絶 厚い壁 長崎・バグウォッシュ会議 「宣言」各国に変革迫る 原発 議論は深まらず
310	11月6日		毎日	7		「核廃絶 すべての保有国は確約を」 バグウォッシュ会議世界大会「長崎宣言」(要旨)
311	11月6日		毎日	20		県民平和講演会「核兵器のない世界を目指して」
312	11月7日		朝日	6		非核国・保有国 深い溝 核軍縮作業部会案 賛否割れる
313	11月7日		長崎	26		バグウォッシュ会議参加 科学者と宗教者 核兵器で国守れない 対話集会、協力を確認
314	11月7日		毎日	23		再処理工場の計画断念を 首相に意見書 バグウォッシュ参加の科学者ら
315	11月8日	○	長崎	6	鈴木	「北東アジアに科学者グループ」 組織委員長の鈴木氏意欲
316	11月8日		長崎	6		論説 中途半端な日本の立場 核廃絶決議
317	11月8日		長崎	25	ダナバラ	核兵器廃絶～バグウォッシュ会議の科学者に聞く ナガサキの視点 対話と信頼必要
318	11月8日		毎日	5		バグウォッシュ 科学者の発信力高めよ
319	11月11日		毎日	9	パオロ・コッタ・ラムジーノ	そこが聞きたい〔科学者の社会的責任〕 危害に細心の注意を
320	11月12日		朝日	6		核燃サイクル 瀬戸際 もんじゅ見直し あす勧告
321	11月12日		長崎	5		世界の科学者へ核廃絶託す
322	11月13日		長崎	5		核の非人道性 世界に訴えて
323	11月14日		長崎	2	エンクサイハン	'時の顔 バグウォッシュ会議に出席した元モンゴル外交官'
324	11月15日		西日本	31		核廃絶へ若者宣言 長崎、広島、東京の学生が発表
325	11月15日		長崎	23	RECNAサポーター	「核軍縮の議論リードを」 長生大生ら若者宣言
326	11月16日		日経	13		もんじゅ存廃、専門家賛否
327	11月21日		西日本	28		ナガサキ・ユースの代表団4期生を募集 中国訪問など予定
328	11月22日		長崎	5	鈴木	「被爆体験語る場ほしかった」について バグウォッシュ2015組織委員会委員長 鈴木達治郎
329	11月23日	朝日新聞AERA		68.69	鈴木	たまり続ける日本のプルトニウム 再処理もつてのほか
330	11月24日		毎日	2	鈴木	核回廊を歩く(50)日本編 「日本に何がわかる」
331	11月28日		朝日	28		ナガサキ・ユース4期生募集 研究者らとの意見交換に重点
332	11月29日		読売	35		海外で平和活動 ユース4期募集
333	12月2日		西日本	23		被爆2世の生き方記録 長崎の証言の会「証言2015」を発行
334	12月4日		毎日	2	鈴木	核回廊を歩く(58)日本編 ゴミ焼却炉
335	12月5日		毎日	2	鈴木	核回廊を歩く(59)日本編 高速増殖実験炉「常陽」
336	12月9日		長崎	23		国連総会 核軍縮で作業部会 設置を決議、日本は棄権
337	12月11日		長崎	13		原爆 戦争 伝え続ける 長崎南校新聞部 被爆者、戦争体験者、若者を1年半取材
338	12月11日		毎日	2	鈴木	核回廊を歩く(63)日本編 夢から覚める日
339	12月13日		長崎	30		日印原子力協定「核兵器転用を懸念」 長崎市長、NPT空洞化も
340	12月15日		長崎	2		論説 原発輸出に大きな疑問 日印原子力協定
341	12月19日		長崎	18		日印原子力協力 「核なき世界」に逆行
342	12月20日	YOMIURI ONLINE				核廃絶 日中韓研究グループ結成へ
343	12月20日		西日本	25		11月のバグウォッシュ会議「科学者の連携進む」 RECNAの鈴木氏が報告 市民セミナー
344	12月20日		読売	33		日中韓研究グループ結成へ バグウォッシュ会議 委員長が方針発表
345	12月20日		長崎	22	カセム	「原発より廃炉技術を」 経済優先の政策批判
346	12月20日		長崎	22	鈴木	日印原子力協定合意 背景に安保推進の流れ 核不拡散の規範弱体化
347	12月22日		長崎	24		核燃再処理「中止を」 軍事転用懸念し方針転換
348	12月27日		読売	31		被爆70年 核廃絶へ議論 若者の継承活動活発化
349	1月号	日経サイエンス		13		バグウォッシュ会議 科学者の責務とは
350	12月30日		朝日	26	山口響	被爆の実相 伝える戦後世代 長崎の「証言集」39歳編集長
351	1月1日		長崎	2		論説 希望と難題を見据えて 新しい年に
352	1月6日	○	長崎	22	ユース4期生	被爆者の声 届けたい ユース代表団4期生10人抱負
353	1月7日		西日本	3		'水爆 核融合で威力大 ビキニ 広島の1000倍 「水爆」真偽 検証は難航
354	1月7日		西日本	19	ユース4期生	ユース代表団決まる 4期生10人 核廃絶へ活動企画
355	1月7日		西日本	19		「水爆」に驚きや怒り 被爆者団体など 政府に注文も
356	1月7日		朝日	31		「被爆地 踏みにじる」 北朝鮮核実験 県内でも批判
357	1月7日		長崎	2		論説 許されない愚行だ 北朝鮮が核実験
358	1月7日		長崎	25		「暴挙」「許せない」 被爆地から怒りの声 「ブースト型」原爆か 長大レクナ 鈴木センター長指摘
359	1月7日		読売	27		北核実験 県民非難の声 知事「平和の願い踏みにじる」
360	1月8日		長崎	24		「非核化提言」具体化へ 来月、長崎で国際会合 北朝鮮問題など解決策探る
361	1月9日		長崎	24		米専門家「ISに懸念」 長崎で講演 核テロの脅威指摘
362	1月10日		日経	21	鈴木	『原子力と人間の歴史』J・ラートカウ、L・ハーン著 独政府の政策転換の背景探る
363	1月12日		佐賀	5	鈴木	廃炉の時代 インタビュー 透明性確保し処分場を 中立的な情報機関必要
364	1月12日	○	朝日	23	ユース4期生	ナガサキ・ユース4期生10人決定 海外で議論・国内で平和教育
365	1月13日		読売	32	ユース4期生	ユース代表団4期生決定 県立大生ら10人 自ら活動内容企画
366	1月13日		毎日	2		「水爆」確認が難航 固有物質なし 時間の壁
367	1月13日		毎日	21	ユース4期生	核兵器廃絶活動広めたい ナガサキ・ユース4期生 誕生 県立大から初のメンバー入り
368	1月15日		長崎	6		NPT「腐食」止まらず 不信と敵対 かすむ核廃絶
369	1月16日		西日本	24	ユース4期生	日本の役割考える アジア訪問 活動の軸に
370	1月20日		日経	31	鈴木	経済教室「脱原発か否か」対立超えよ 国民の信頼回復 急務
371	1月23日	○	長崎	14		平和事業 アイデア続々 長崎大 市長と学生らが座談会
372	1月24日	○	長崎	26	鈴木	「被爆地から声を」 専門家ら核廃絶へ講演
373	1月26日		朝日	14	鈴木	WEBRONZA もんじゅ 国策依存の果てに
374	1月27日		長崎	10		長崎大の広報誌「Choho」最新号 「被爆70年」の活動の特集
375	1月28日		毎日	3	土山	特集ワイド インドで「アベさん、帰れ！」 日印原子力協定に反対運動
376	1月28日		朝日	32	土山	被爆者「積極提案を」 核軍縮部会参加へ 政府に要望
377	1月28日		長崎	25	朝長	国連作業部会ポイントに 核廃絶めぐる情勢 朝長氏が解説
378	1月30日		長崎	26	ユース4期生	ユース代表団「ピースキャラバン」「全国で受け入れを」 非核宣言自治体協に要請
379	2月5日		毎日	9	鈴木	「もんじゅ」と原子力政策
380	2月8日		西日本	16	土山、ユース4期生	被爆地から非難の声 北朝鮮ミサイル 技術の進歩を懸念
381	2月9日		長崎	17	中村、ユース4期生	核兵器 思考する素地を
382	2月13日		長崎	24		宗教者の声 発信へ 北東アジア非核地帯目指す
383	2月18日	○	長崎	26	梅林	「核軍縮へ役割果たして」梅林氏が参院調査会で意見
384	2月23日		長崎	24	朝長	核なき世界へ被爆者尽力 国連作業部会が初会合 ジュネーブ

番号	日付	選考記事	新聞	ページ	掲載人物(敬称略)	見出し
385	2月29日	○	長崎	24		専門家グループ11月設置 北東アジア非核化目指し 長大レクナ 北朝鮮にも参加打診
386	3月1日	○	長崎	23	エンクサイハン	北東アジア非核化実現 「一緒にプロセスを」 モンゴルの元外交官講演
387	3月6日		長崎	26	鈴木	分離プルトニウム削減を 長大レクナ 鈴木センター長講演
388	3月8日		長崎	22	四條	存在が問われる営み 震災5年「語り継ぐ」を考える
389	3月17日		日経	9	鈴木	司法が止めた原発 リスク巡り国民的議論を
390	3月17日		毎日	11	鈴木	第三者機関で評価を
391	3月19日	○	朝日	29	ユース4期生	ナガサキ・ユース代表団 「未来につなげたい」 市長に意気込み語る
392	3月19日		長崎	28	ユース4期生	「未来に向けた活動を」 ナガサキ・ユース代表団 4期生が意気込み
393	3月19日		長崎	30	土山	違憲、戦前回帰を想起 安保を問う―関連法施行を前に
394	3月19日		長崎	30	梅林	「あり得ない」「危険」 被爆者ら批判、けん制
395	3月19日		西日本	27	ユース4期生	核廃絶、平和・・・「本音で語りたい」 ユース代表団 アジアへ
396	3月30日		朝日	32	ユース4期生	核といのち考える 両国若者「平和宣言」
397	3月30日		長崎	21	森永	原爆をどう伝えたか 日本で事故が起こるとは
398	3月31日		朝日	37	ユース4期生	脱「核の傘」モンゴルの教え 長崎の学生ら訪問